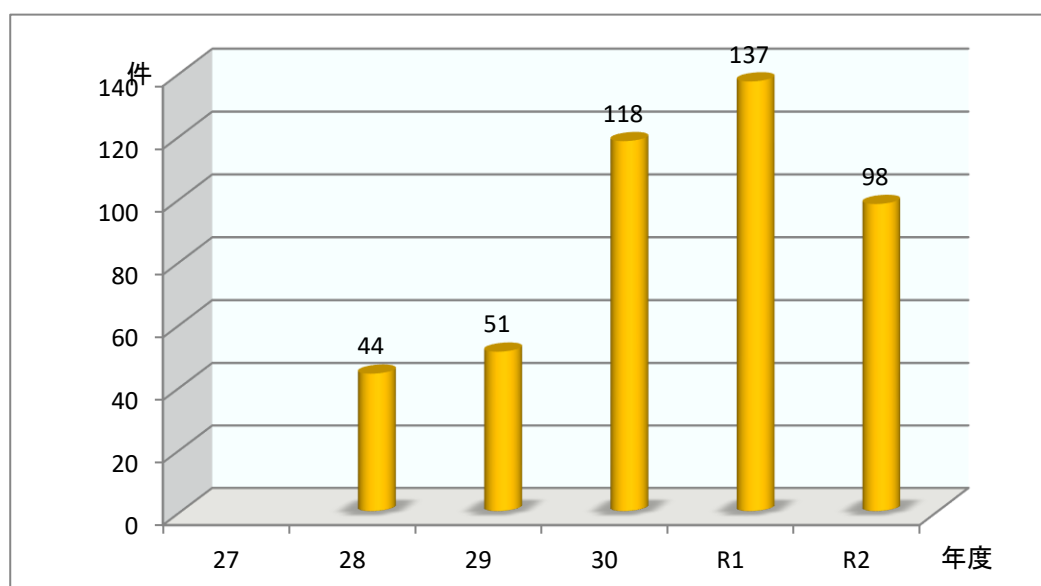


10 整形外科手術における画像等手術支援(ナビゲーションによるもの)の実施件数

解説

画像等手術支援(ナビゲーションによるもの)とは、手術室でCT画像のようなX線3次元(3D)画像を撮影し、3D画像とナビゲーションシステムを併用することで立体的に位置確認をしながら手術を行うことができ、特に脊椎手術の手技の精度向上に有用です。このシステムの利点は、患者さん及び手術スタッフの放射線被ばく量が軽減されるとともに、低侵襲かつ高精度の手術が可能となります。

実績



自己点検評価

年々脊椎手術、腫瘍手術が増加しており、手術室3D画像とナビゲーションシステムを使用する頻度が増加している。システムを用いることは、手術精度の向上につながっている。

定義

整形外科において各年度1年間の画像等手術支援加算(ナビゲーションによるもの)の算定件数。
※平成29年度より追加した項目

算式

画像等手術支援加算(ナビゲーションによるもの)の算定件数